

仙北市の ゴミ白書。



地球温暖化を防ぐため、CO₂を削減しようと世論が高まったおよそ20年前。家庭や企業ではゴミへの意識が変わり始めました。1997年（平成9年）には国際会議で各国の削減目標が定められ、国を挙げて本格的なゴミ対策がスタート。リサイクルが急速に進みます。

ペットボトルやアルミ缶が普及するなど、身近な資材が変わった時期もありました。ゴミの分別やリサイクルのために個人がするべきことに戸惑った経験は、誰もがあつたと思います。

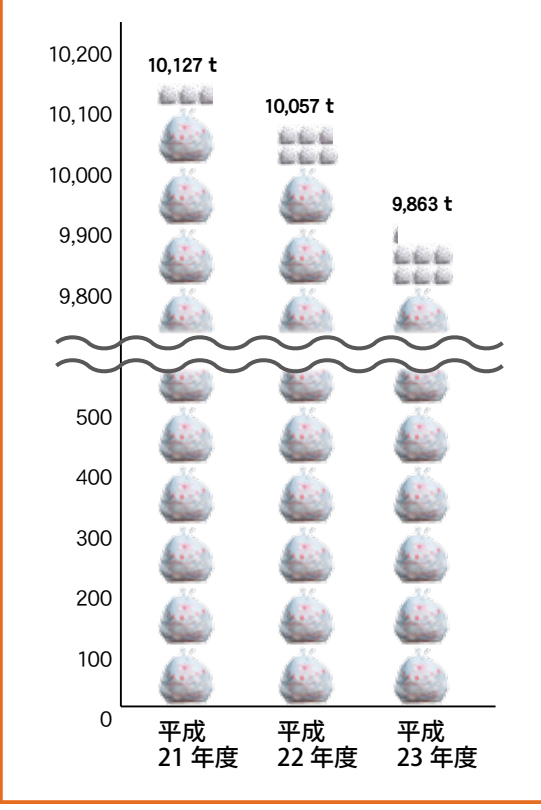
仙北市では平成10年に旧角館町・田子に北浦環境センター（角館町外三か町村公衆衛生施設組合運営管理）が完成し、1日に51トンのゴミ処理能力ができるようになりました。仙北市のごみの量は過去3年度を比べると平成21年度約1万127ト、平成22年度約1万57ト、そして平成23年度約9863トと減少傾向となっていて市民モラルが向上しているからではないかとの

こと。うれしいですね。

この間にゴミを取りまく環境も随分変わりました。今では若者だけでなく高齢者も寒さ対策と気軽さで愛用者が多いフリースは、ペットボトルを再利用した衣料です。以前は廃棄していた物が資源として注目されるなど、ゴミの価値も変化していきます。いずれゴミは時代の産物で、いつも目が離せません。

少しずつ前進している仙北市のゴミ。これからも市民の手で自慢できるゴミ環境をつくりましょう。

環境保全センターのゴミ搬入量



市民レベルの向上で、ゴミが減っている!?

燃やせるゴミ

紙くず・紙おむつ・
吸い殻



【長さ30センチ以内・厚さ10センチ以内】
布くず・糸くず・ちり紙・紙くず・
たばこの吸い殻・紙おむつ など

台所ゴミ



食品の包装類・
ラップ類・卵や納豆のパック類・
洗剤容器・おもちゃ・野菜のくず、卵
のから・食べ残し など

ゴム・皮等



カバン・バック類・靴・ベルト・革製品・
合成ゴム製品・雨がっぱ・長靴 など

落ち葉等



落ち葉・花・庭の草 など

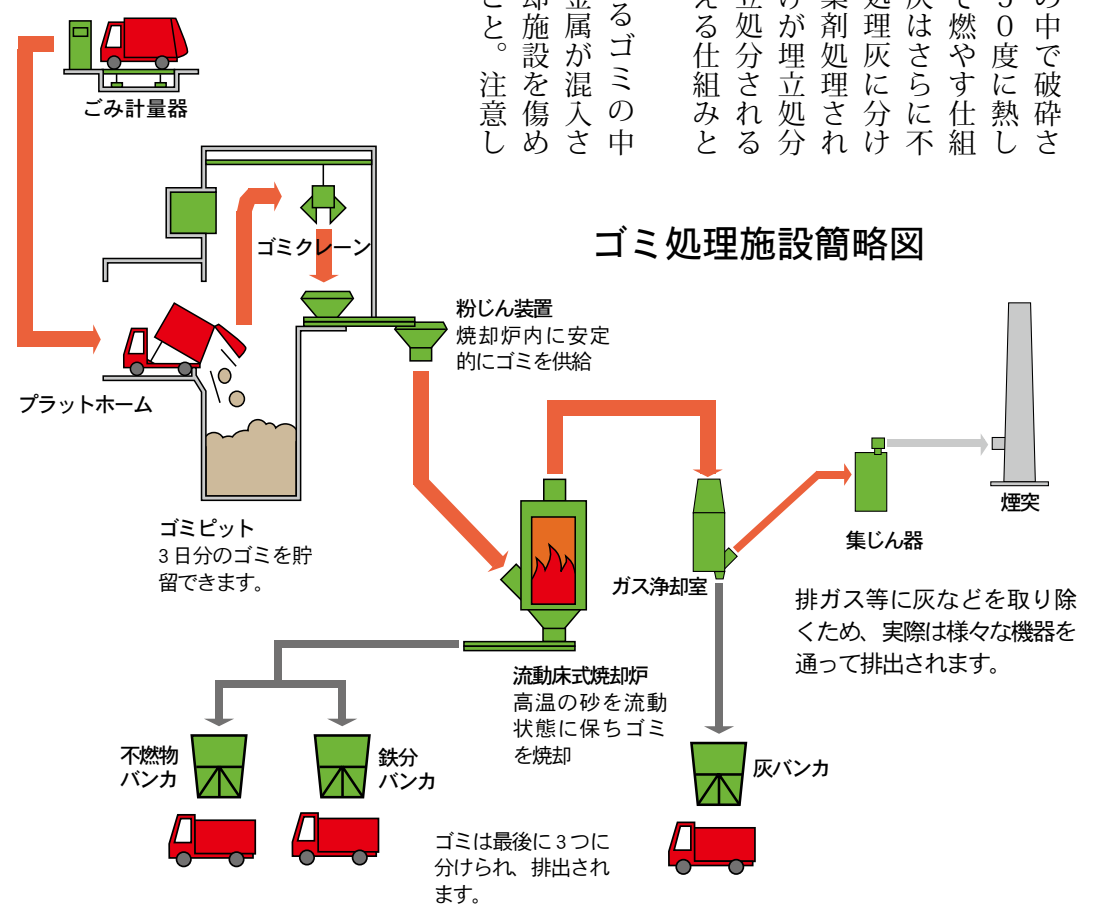


地域毎に収集日が
決められた燃やせるゴミは
環境保全センターに運び込まれます

ゴミピットの中で破碎されたゴミを650度に熱した砂の保有熱で燃やす仕組みで、残った灰はさらに不燃物、鉄分、処理灰に分けて排出され、薬剤処理された集じん灰だけが埋立処分されます。埋立処分されるものを極力抑える仕組みとことです。

また燃やせるゴミの中に、乾電池や金属が混入されていると焼却施設を傷めてしまうとのこと。注意したいものです。

ゴミ処理施設簡略図



リサイクルできる ガラスびん



ジュース・カップ酒・ウイスキー・ドリンク剤・錠剤びん（劇薬・農薬など除く）・ハチミツ・一升びん・ビールびん・焼酎透明びん など

仙北市のペットボトルは キレイ？

再生工場へ送られるペットボトルについては、状態によってランク分けがあるそうです。仙北市のペットボトルは家庭から出された時点で洗浄され、キレイなモノが多く、高評価を得ているとか。選別等についても作業がしやすいとのこと。これからも皆さんのご協力をお願いします。

新聞紙・本類・ダンボール

新聞紙類：新聞紙・

包装紙・コピー用紙・など

本類：雑誌（のりづけ）・週刊誌（ホチキス止め）など

ダンボール類：菓子類の紙箱・容器類の紙箱など

ペットボトル



ジュース・焼酎・醤油・その他飲料などのペットボトル

空き缶

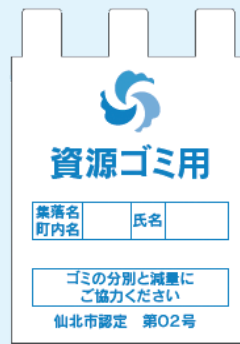


ジュース・ビールなどの飲料用
空き缶・缶詰・のり・せんべい・
ミルク缶・スプレー缶など

乾電池



単1・単2・単3・単4・
ボタン電池 など



再生工場へ売却して リサイクル

分別にひと手間かかる資源ゴミ。あなたのひと手間がリサイクルの大きな役割を果たしています。中でも、鉄・アルミ・ペットボトル・古紙は再生工場へ売却しています。

しない、させない ゴミの不法投棄

自分の土地を 適正に管理

マナーが良いと言われる仙北市のゴミ事情ですが、問題として挙げられるのが不法投棄のことです。

有料廃棄の家電、古タイヤなど投棄されているようです。不法投棄に対し地域の皆さんが自分たちで周辺の草刈りなど整備を進め、看板やフェンスを立てて注意を促した活動もありました。（白岩、雲然の地域運営体など）

不法投棄はゆるされない行為です。市民全体の知恵と力で仙北市の環境をまします良くしていきたいものです。



巨大クレーン作業には 子どもたちも目が釘付け

仙北市のほとんどの小学校が授業の一環で訪れる環境保全センター。子どもたちに人気なのはゴミピットにためられた燃やせるゴミを破砕する作業。ゲーム機のUFOキャッチャーさながらにクレーンを操り、ゴミ袋を高所に持ち上げては一気に落とし、破砕するのです。この作業を繰り返し丁寧に行うことでゴミがまんべんなく混ざり、空気を含んで燃えやすくなります。

環境保全センターで運転業務や機械の保守点検にあたるのは委託された業者の皆さん。特殊技術が必要のために、取得免許も多数。フォークリフト等の運転免許から特殊なものまでが必要になります。

また施設は無公害処理を目指して造られ、工夫や技術が駆使されています。外部に臭気が漏れないエアカーテン、振動や騒音対策などもされています。

